

広報
Kouhou Wakasa

わかさ

5²⁰²³月号
No.217



[特集] 02

第2次若狭町総合計画 (中期基本計画)がスタートしました!

[特集] 06

若狭町初 住民参加のミュージカル公演

08 ドキ! DOKI! 情報局

12 情報BOX

「将来も住み続けられ、心ゆたかで「幸せ」な暮らしの実現」を目指し

第2次若狭町総合計画 (中期基本計画)がスタートしました!

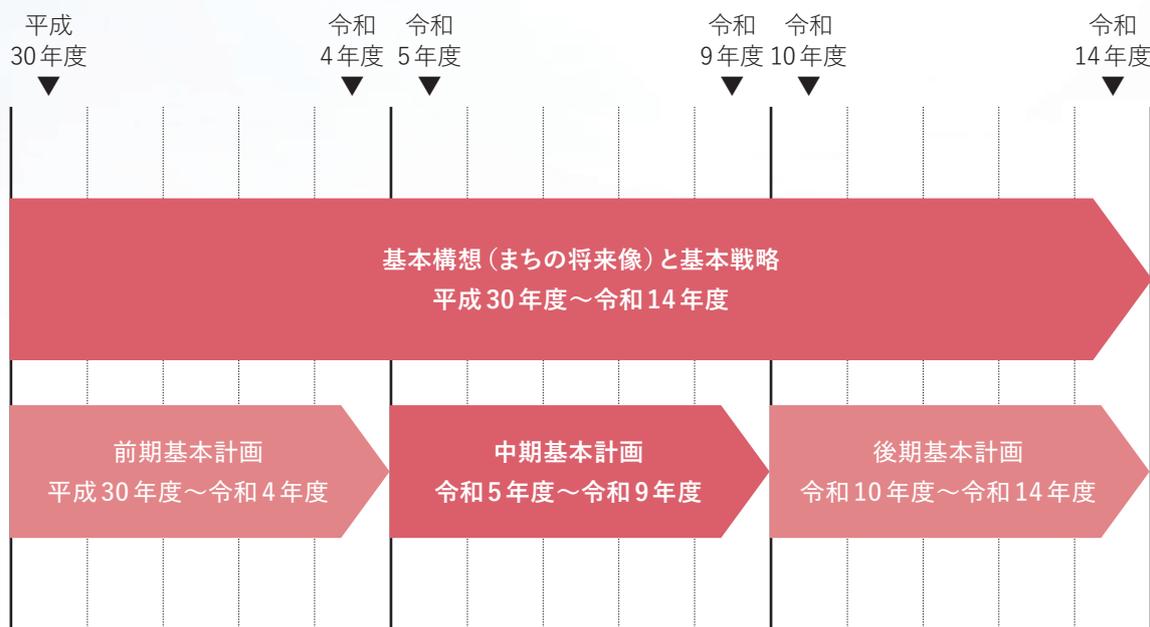
令和5(2023)年度～令和9(2027)年度

総合計画は、町の経済や産業、環境、福祉、教育、文化、町の基盤整備などあらゆる分野の施策について、長期的な視点に立って取りまとめた計画です。

第2次若狭町総合計画は、15年間の基本構想と5年毎の基本計画(前期・中期・後期)で構成しています。今回の計画はその中期にあたる令和5(2023)年度～9(2027)年度を対象とした計画になります。

令和3年10月に町長より総合計画審議会に諮問され、審議会7回、策定委員会延べ24回を経て令和5年2月に審議会長から町長へ答申されました。その後、3月の議会において認められ、令和5年4月1日から第2次若狭町総合計画(中期基本計画)がスタートしました。

これまで積み上げてきた各種の取り組みをさらに充実・発展させ、町民・企業・行政などが一体となって地域課題を克服し、中期基本計画の目標『将来も住み続けられ、心ゆたかで「幸せ」な暮らしの実現』を目指します。



中期基本計画【期間：令和5年度～令和9年度】

中期基本計画の目標を『将来も住み続けられ、心ゆたかで「幸せ」な暮らしの実現』とさせていただきます。

この目標には、人口減少や少子高齢化に伴う集落や産業の担い手不足、地域経済の縮小などに立ち向かい「将来も住み続けられることができるまちを目指す」、そして、ただ暮らしていただくだけでなく、「心ゆたかに『幸せ』を感じられるようなまちにしていきたい」、という願いが込められています。

その中期基本計画目標「将来も住み続けられ、心ゆたかで『幸せ』な暮らしの実現」を目指して、7つの政策目標を掲げました。

各政策目標を達成するため、それぞれ施策・事業を展開していきます。

7つの政策目標

産業・雇用



1 魅力あふれる産業で「幸せ」に暮らせるまちへ



新しい産業・ビジネスの創出や民間事業者の誘致により、町の魅力を高め、住民が幸せを実感でき、地域経済の好循環を実現するための取り組みを進めていきます。

若狭町が誇る自然、名所等の観光資源や歴史遺産、そして新鮮な食材と豊かな食などをブラッシュアップし、発信、PRすることにより、観光客滞在時間の延長および旅行消費額を拡大させ、稼げる観光地づくりを目指します。

農林水産業の担い手育成を図り、地域資源の魅力を高めつつ、経営の効率化・安定化を図ります。



生活



2 安全・安心を協働で築く「幸せ」なまちへ



快適に暮らせる住環境の実現のため、上下水道環境、道路環境、地域公共交通を維持・充実し、情報通信環境整備、廃棄物処理の集約化・効率化を進めることで、住民の満足度の向上を目指します。

魅力あるエリアの開発、分譲地など住まいを供給し、若者のU・Iターンや定住を目指します。

地域の安全・安心を確保するために、行政、個人、家庭、地域、企業、団体等の防災・防犯意識を高めるとともに、連携した体制の整備を図ります。



3 「幸せ」の中で誰もが自分らしく 元気に暮らせるまちへ



人生100年時代、健康寿命の延伸を目指し、誰もが元気に活躍できるよう、ライフステージに応じた取り組みや、生まれる前から高齢期までの一生涯にわたって、健康づくりを推進します。

住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく地域共生社会の実現を目指し、これまで以上に地域における見守りや支え合い体制を構築し、地域全体で助け合う機運を高めます。



4 親子が笑顔で過ごせる 「幸せ」いっぱいのまちへ



妊娠期から子育て期にわたって切れ目のない支援をし、子どもを取り巻くあらゆる環境を視野に入れ、子どもが健やかに成長していくことを町全体で後押しします。

将来、夢や希望を実現し、社会や地域の担い手として活躍できるように、学んだことを主体的に活かしながら、多様な人との対話を通して新たな価値を創造していく働的な学びを充実します。

子どもが本来持っている「自ら学び成長しようとする力」を育ませるため、豊かな自然に接する機会を多く設け、自然環境や地域資源を活かした体験活動を推進します。



5 「幸せ」あふれる集落で いつまでも住み続けられるまちへ



地域活動を行う各種団体や地域コミュニティ活動への支援を推進し、人と人を繋ぎ、互いを支え合い、住民と地域社会を元気にしていく取り組みを進めていきます。

学校でのふるさと学習や体験活動を通じて、地域の人々と関わりを持ち、郷土を理解することで、郷土への誇りや愛着心を持った心豊かな子どもの育成を図ります。

人口減少対策に取り組み、若者・子育て世代の移住・定住に繋がる施策を展開していきます。



6 自然・文化を楽しみ 「幸せ」とともに未来へ引き継ぐまちへ



文化芸術を身近に感じ、誰もが健康で文化的な生活を実感できる機会を今後も増やしていくため、文化芸術活動による住民の交流と地域の活性化を促進します。

文化遺産を身近に感じてもらう仕組みづくりと地域内外へ情報発信をします。

気候変動の原因となっている温室効果ガスの抑制のため、脱炭素社会の実現に向けた取り組みを実施します。



7 最良の行財政運営で「幸せ」が実現できるまちへ



住民のニーズを的確に把握した上で、最適なデジタル技術を用いて、住民の利便性の向上と行政事務の効率化を進めます。

健全な財政運営を継続させるために、事務事業やイベントの見直し、各種料金等の見直し、ふるさと納税の推進など短期的な目標のほか、公共施設等の適正な配置と運営方法など中長期的な課題を掲げ、行財政改革を継続して推し進めます。

具体的な取り組み内容、詳細については、町ホームページで公開しています。



中村正人 審議会長インタビュー Interview

令和3年10月の諮問から、令和5年2月の答申に至る1年4カ月余りの期間、審議会と3つの策定委員会に、約40名の若狭町民が延べ31回の会議を持ちました。

私自身初めての経験でしたので、できる限り策定委員会にも参加し勉強させていただきました。委員会の皆さんは、お仕事を終えてからの会議にもかかわらず、豊富な経験知で町の現状と課題に真摯に向き合い、貴重なご意見やご感想を多数出してくださいました。それらを庁内検討委員会でまとめていただき、審議会で協議させていただきました。

今、学校では子どもたちが自分で課題を設定し、その解決に向けて情報収集や整理・分析、協働し意見交換をしながら提言していく提言型探究学習に取り組んでいます。私は、「第2次若狭町総合計画（中期基本計画）」を、大人版の探究学習と捉えています。

P（計画）D（実行）C（評価）A（改善）のサイクルを、行政・企業・町民がスクラムを組みワンチームとなって共有し、絶えずコミュニケーションを図りながら「幸せ」をキーワードに、中期基本計画の目標達成に向けて進んでいこうではありませんか。

若狭町初

パレア若狭ミュージカルドリームプロジェクト

住民参加のミュージカル公演

住民が自ら発信して文化芸術の振興を図ろうと、町が初めて企画したミュージカル「希望に向かって ～The Sound of Music～」が3月5日(日)パレア若狭音楽ホールで上演されました。

ミュージカルの不朽の名作であるこの作品は、シスターを目指すマリアがトラップ一家と心を通わせていくストーリー。7月のオーディションで合格した21名が、9月より本番前日まで20回以上にわたる練習を重ね本番に臨みました。

当日は満席の観客を前に、きれいな歌声や元気なダンスを披露し、会場はおおいに盛り上がりました。またブライダルデザイナーの桂由美さんのドレスも公演に使われ、華やかさを演出しました。

町ではさらなる文化の振興、人材育成、地域の活性化を目指し、来年度もミュージカル公演を企画しています。



練習風景 10月26日



練習風景 3月4日



オーディションのようす 7月17日



劇団四季出身俳優の増田朱紀さんによる歌い方や振り付けなどのきめ細かい指導と、敦賀や美浜公演でも指導された小牧伸輔先生の演出で練習が進められました。



公演のようす



次女ローザ役

久保上 莉歩さん(三方中学校1年生:南前川)



私はミュージカルに出演して、表現する事の大切さを学びました。自分の役がらになりきって歌ったり踊ったりする事はとても難しかったけれど、本番で思いを伝える事が出来た時は達成感がありました。これからもミュージカルに挑戦したいと思います。そして、ここで得たものを色々な所で生かしていきたいです。



執事ディートリヒ役

森川 勇さん(上中中学校2年生:井ノ口)



僕はトラップ家に仕える執事の役でした。出演する子役の中で一番最初に僕の出演があったので緊張しました。演出の先生からアドバイスを頂き、ゆっくりはっきり台詞を言う練習を何度もしました。特に楽しかったのは「Zero to Hero」の歌とダンスです。みんなで一つのステージを創り上げるチームワークと達成感は最高でした。またいつか挑戦したいです。貴重な機会をありがとうございました。



長女リーズル役

吉田 遥香さん(美方高校3年生:海山)



小さい頃から歌の勉強をしてきた私にとってミュージカルは憧れでした。今本当に幸せな気持ちでいっぱいです。送り迎えしてくれた家族、演出の小牧先生、歌や演技指導をしていただいた増田さんからのアドバイス、特に私が長女を演じた7人の子どもたちは、練習するうちに本当の兄弟のように和気あいの仲間となっていました。終わった後はたくさんの方々からいっぱい褒めていただきました。当日最後の曲をみんなで歌った時、今までのことを思い出しながら「良かった!」という思いにひたりながら拍手を受けていました。ありがとうございました。



シスターソフィア役

前 美里さん(南前川)



練習は土日が多く私は土曜日が出勤だったので、なかなか練習に参加出来ず本番に間に合うか心配になっていました。その時、演出の小牧先生に「楽しくやったらいいんだよ!」と励まされ、フツと力が抜け楽になりました。また3人のシスターの曲では、本格的に声楽をやっていない私は大変不安でしたが、みんな一緒に練習に付き合ってくれてありがたかったです。みんなに助けられ出演できたと思っています。本番は大変緊張しましたが、気持ちよくできました。また機会があればチャレンジしてみたいです。